

2026 年 9 月 1 日

報道関係各位

三菱地所株式会社

警視庁・東京消防庁と連携した丸の内エリアでの大規模訓練を継続

第 100 回「ひと×まち防災訓練」を実施

～帰宅困難者や群集雪崩の発生、民間バス・ヘリコプターによる要救助者の搬送を演習～

三菱地所株式会社は、本日 2026 年 9 月 1 日早朝より、東京・丸の内エリアを中心に三菱地所グループ社員約 2,000 名および関係先が参加する総合防災訓練を実施しました。三菱地所による丸の内エリアでの防災訓練は 1926 年より継続して実施しており、今回が 100 回目となります。

警視庁・東京消防庁と連携するとともに、エリア就業者や来街者も参加。三菱地所本社での災害対策本部立ち上げから始まり、建物の安全確認訓練、地震による火災発生を想定した丸ビルでの消防訓練や、行幸通りに滞留する帰宅困難者の誘導訓練、群集雪崩などによる要救助者を民間バスやヘリコプターで搬送する訓練など、東日本大震災クラスの地震発生時に想定される多様な事態に対する訓練を行い、実効性の強化を図りました。

さらに節目となる今回は、東京大学先端科学技術研究センターの廣井悠教授をお招きし、「首都直下地震に備えた都市防災と帰宅困難者対策」をテーマに、丸の内エリアの就業者が観覧・視聴いただける講演会も行いました。

三菱地所の災害対策の歴史は古く、前身である三菱合資会社地所部が 1923 年の関東大震災時に、旧丸ビルやその周辺で飲料水の提供や炊き出し、臨時診療所の開設などを行ったことに端を発しています。震災直後から、官庁、銀行・会社、商店など、約 400 の事務所が丸の内に移転し、都心の政治・経済活動の中核機能が臨時に集中しました。震災を免れた丸の内は、東京が復興するまでの間、さまざまな面で人々の暮らしに寄与しました。

三菱地所は「安全・安心」をまちづくりの根幹と位置付け、防災への取り組みは、まちへの信頼を育み、都市の価値を支える重要な基盤であると考えています。地道に積み重ねてきた防災への取り組みの歴史と経験を礎に、次の 100 年に向け、行政機関や地域の方々とともに都市の防災力向上に継続して取り組むとともに、社会全体の防災意識向上にも貢献してまいります。



▲放水訓練（丸ビル）



▲ヘリコプターによる要救助者搬送訓練

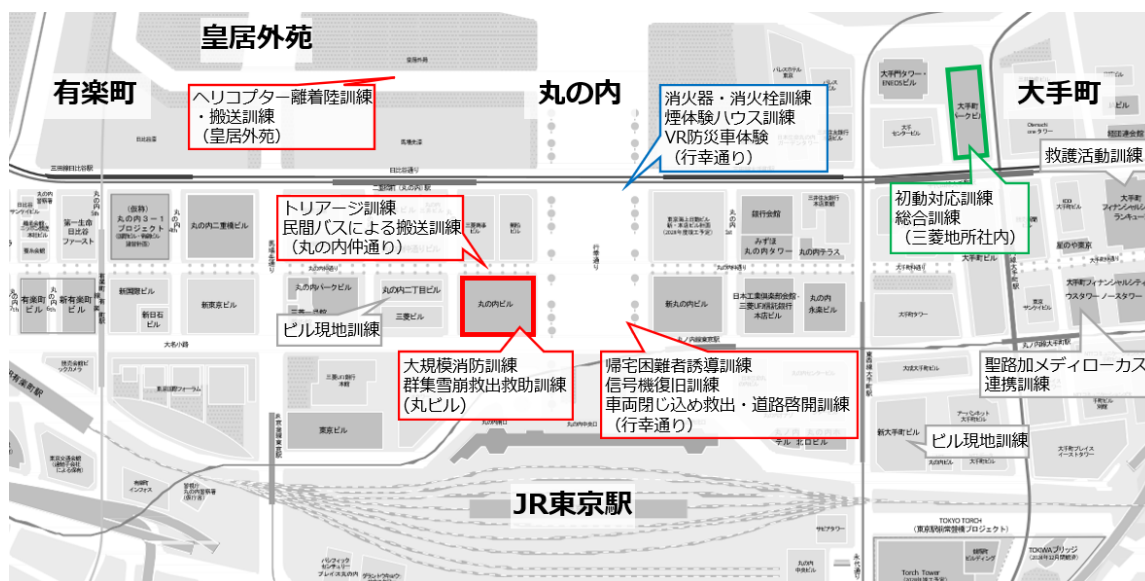
■第100回「ひと×まち防災訓練」の実施概要

日 時：2026年9月1日（火）7:15～17:00

場 所：大手町パークビル、丸ビル、丸の内仲通り、行幸通り、皇居外苑 ほか

主 催：三菱地所株式会社、警視庁丸の内警察署、東京消防庁丸の内消防署

協 力：環境省自然環境局、千代田区、東京都建設局、東京科学大学病院、日本医科大学付属病院、
日本大学病院、日の丸自動車興業株式会社、三菱自動車工業株式会社、
一般財団法人国民公園協会



【訓練内容】※震度7の地震および同等クラスの余震の発生を想定。

＜三菱地所本社における総合訓練＞

地震発生時の初動対応訓練の後、災害対策総本部を立ち上げ、所管する物件の被災状況や社員の安否などを情報収集・伝達する訓練等を行いました。

物件の被災状況の調査にあたっては、監視カメラの映像を活用した情報収集を行いました。またビル現地においても、建物の安全性を確認する建物応急危険度判定を実施。被災度判定システムを用いて地震による建物の揺れ方を確認し、被害の想定される階より管理スタッフが目視による1次診断を実施。その後、駆け付けた三菱地所グループの技術者等が、2次診断・3次診断を実施する建物安全確認訓練を行いました。

＜丸ビルにおける消防訓練＞

丸ビルにおいて、地震による火災発生を想定した大規模消防訓練を実施しました。

- ・はしご車を利用した救出救助訓練

逃げ遅れた要救助者を7階からはしご車で救出する訓練を実施しました。

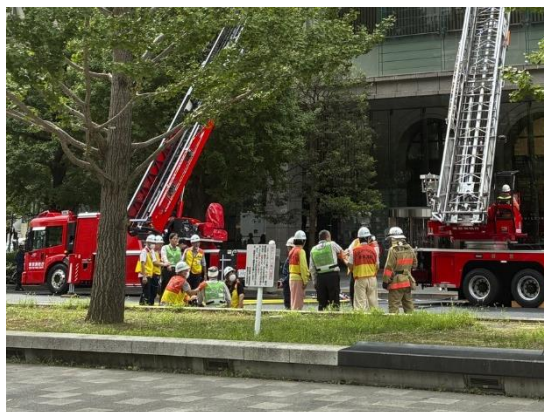


- ・消防団によるトリアージ会場への搬送訓練

救助した要救助者を、消防団がトリアージ会場へ搬送する訓練を実施しました。

- ・避難、応急処置の訓練

ビル内にいた人が外へ避難し、災害時支援ボランティアにて応急処置をする訓練を実施しました。



- ・座席懸垂による緊急脱出訓練

要救助者を救出後、余震発生により、丸ビル7階から行幸通りに降ろしたロープを使って救助隊が緊急脱出する訓練を行いました。



- ・放水訓練

救出救助や緊急脱出の訓練後、一斉放水訓練を実施しました。



＜行幸通りにおける訓練＞

地震発生後に想定される様々な状況に対する訓練を実施しました。

- ・帰宅困難者誘導訓練

「キタコン DX」の利用を想定した、帰宅困難者（約 30 名）の誘導訓練を行いました。丸の内警察署と千代田区災害対策本部、地域協力会が連携し、丸の内エリアの帰宅困難者一時受入施設へ案内しました。

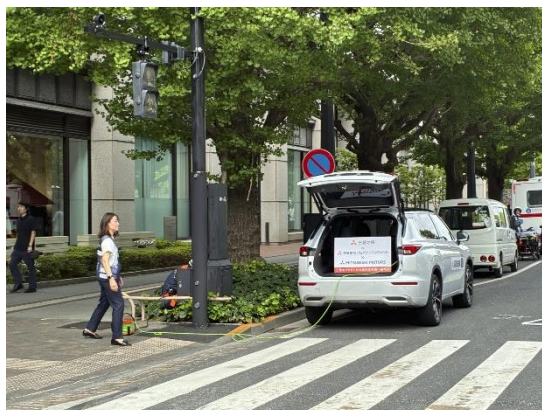
協力：千代田区災害対策危機管理課



- ・信号機滅灯対応、電気自動車による復旧訓練

地震の影響により停電、信号機が滅灯した状態を想定して、電気自動車から給電し、信号機の復旧を図りました。

協力：三菱自動車工業株式会社



- **多重事故による車両閉じ込め救出、道路啓開訓練**

地震の影響により複数の車両を巻き込んだ多重衝突事故が発生し、車の中に人が閉じ込められ、さらに車両が道路上に立ち往生し道路をふさいでいる状況。警視庁機動救助隊が車内に閉じ込められた人を救出し、国土交通省と東京都建設局が交通に支障のある車両を移動させ、道路を空けて車両動線を確保しました。

協力：東京都建設局、東京科学大学病院、日本医科大学付属病院、日本大学病院、三菱自動車工業株式会社



＜エリア内の要救助者に対応する一連の訓練＞

地震によりまちに要救助者が多数発生している状況を想定した訓練を実施しました。

- **ビル内エスカレーターでの群集雪崩救出救助訓練**

丸ビル内のエスカレーターにて、群集雪崩に対応する訓練を実施。

協力：東京科学大学病院、日本医科大学付属病院、日本大学病院



- **医療従事者と連携したトリアージ訓練**

群集雪崩等から救出された人に対し、東京科学大学病院、日本医科大学付属病院、日本大学病院のDMAT（災害派遣医療チーム）と協力しトリアージ訓練を実施しました。

協力：東京科学大学病院、日本医科大学付属病院、日本大学病院



・民間バスによる要救助者搬送訓練

災害時協定締結事業者（日の丸自動車興業株式会社）による搬送訓練を行いました。

協力：日の丸自動車興業株式会社



・警視庁航空隊によるヘリコプター離着陸訓練および搬送訓練

ヘリコプターで要救助者を搬送する場面を想定し、皇居外苑に着陸させたヘリコプターに要救助者を乗せる模擬訓練を行いました。

協力：環境省自然環境局、一般財団法人国民公園協会



<その他の訓練>



▲消火器訓練



▲消火栓訓練



▲煙ハウス体験



▲VR 防災車体験

<挨拶・講評>

登壇者（左から）：

三菱地所プロパティマネジメント株式会社 取締役社長 久保 人司
丸の内警察署長 岩田 利幸 氏
千代田区長 樋口 高顕 氏
三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤
丸の内消防署長 森住 晃 氏
丸の内消防団長 千葉 太 氏



<防災講演>

『首都直下地震に備えた都市防災と帰宅困難者対策』

首都直下地震発生時に都心部で想定される課題、帰宅困難者対策の最新動向等について東京大学・廣井悠教授にお話をいただきました。

登壇者：廣井 悠 教授（東京大学先端科学技術研究センター）

専門分野・研究内容：

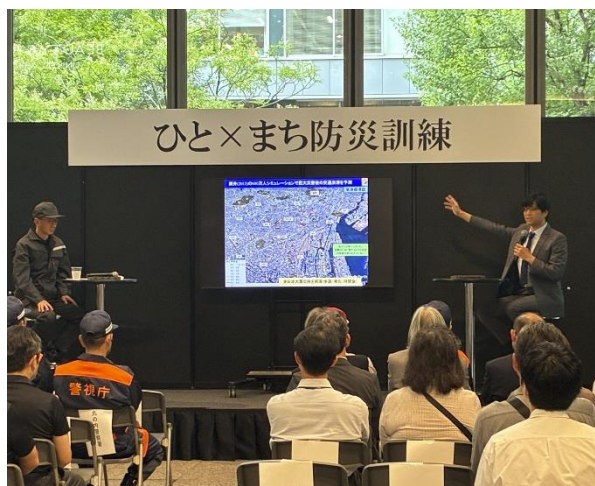
大都市防災を専門とし、帰宅困難者対策、災害時交通、避難行動、災害情報等を研究。数理モデルやシミュレーションを活用して都市災害を分析するとともに、都市の安全性と利便性・快適性の両立に向けた制度設計や計画立案について、都市計画の観点から研究を行う。

主な公的役職：

内閣府「首都直下地震帰宅困難者等対策検討委員会」座長をはじめ、東京都「帰宅困難者対策 DX 検討会」、中央区「帰宅困難者支援施設運営協議会」座長、総務省・消防庁・国土交通省の火災・防災に関する検討会など、国・自治体の防災関連委員を多数歴任。

主な受賞歴：

令和 5 年 防災功労者内閣総理大臣表彰、令和 5 年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞 ほか。



■丸の内エリアの防災の取り組み

三菱地所グループでは、災害を含むあらゆる危機管理における基本方針・行動指針に加え、緊急事態発生時の行動内容等を定めた「緊急事態対応マニュアル」を策定しています。災害が発生した際の対策として、災害から人命と関連施設を守り、適切かつ迅速な復旧施策を実行するため、独自のマニュアルにて、平常時からの予防措置、任務分担、訓練計画、災害発生時の応急措置計画、復旧対策など、広範できめ細かな対策を定めています。大規模災害発生時または恐れがある場合に、「非常災害体制」を発令、災害対策本部を立ち上げるとともに、行政・警察・消防やゼネコン・サブコン、聖路加メディローカスと連携し、建物応急危険度判定、負傷者対応、帰宅困難者対応を実施します。

また、三菱地所は 2012 年に帰宅困難者収容施設に関する協定を千代田区と締結しています（対象：丸の内エリアの 14 棟）。

【参考】関連リリース

第 99 回「ひと×まち防災訓練」を実施（2025 年 9 月 1 日）

URL：https://www.mec.co.jp/news/mec250901_bosai/mec250901_bosai.pdf

診療所等と連携した「災害ダッシュボード」新機能実証実験（2026 年 2 月 10 日）

URL：https://www.mec.co.jp/news/detail/2026/02/10_mec260210_saigaidb

千代田区と被災者受け入れに関する協定締結（2012 年 8 月 27 日）

URL：<https://www.mec.co.jp/news/archives/mec120827.pdf>

千代田区医師会・三菱地所・東京駅周辺防災隣組が協力（2013 年 9 月 6 日）

URL：https://www.mec.co.jp/news/archives/mec130906_ishikai.pdf

以 上